



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 2000, 74(2):
199-199

ISSUE DATE:

2000-05-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96809>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成12年5月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第74巻 第2号

ISSN 0525-2997

vol.74 no.2

物性研究

2000 / 5

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し議論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 物性研究に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **73** (1999), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

「変わらなくちゃ」というコマーシャルがある。おそらくその背後には変化に伴う進歩が暗黙のうちに仮定されている。しかし昨今、変化が進歩ではなく混乱をもたらす場合が急速に増えている様に思う。入試制度をいじればいじるほど悪くなるというのは経験的事実であったが改革ブームに乗った大学関係ではもっと深刻な事態に陥っている。

物理学も目新しさを求めて迷走している面もある。そもそも物理学がそんなに変わったら大変である。幸いにも一度建設され承認された物理学の理論は適用範囲の変更はあっても、理論そのものが否定されたことはないと言ってよい。おかげで工学等の基礎として物理学が役に立っているのであるが、それが逆に停滞感を生み、窮屈さを感じさせる面も否定できない。実際、生物等は高校の教科書レベルで記述がどんどん変わっているのに比べ、物理学では大学の学部レベルでもほぼカリキュラムは不変であり若者への魅力は乏しい可能性がある。しかし物理学が時代の風雪を越えて慄然と立ち尽くすその美しさは数学を除く他の学問分野にはないものである。単に甘口でないからとけばけばしい化粧をする愚はしてはならない。

考えてみると 1970 年位に描いていた 2000 年像と現在の日常というのはかけ離れている。この 30 年間、全く進歩がない事が多くて驚いてしまう程である。昔は月に人類が行っていたのに今や地球の回りを回っているだけでニュースになる時代である。航空機も然り。今は単なる部分的な停滞に留まっているがギリシアやローマの例を見るまでもなく一挙に文化が崩壊することもあり得る。実際、教育の場でも日本の大学生の学力低下は深刻であり、物理という文化の継承も危ういところまで来ていると実感する。ここで学生に迎合して教育レベルを落すとはとめどなく学力が低下していきそうで恐怖感を覚える。

京大のような大学に在籍する文系の人は物の理屈である物理を知らないまま大人になって、社会の中枢に座る。こうした事実も文化的な危うさを助長しそうである。従って物理を将来必要としない人達への教育は重要な意味を持つであろう。幸か不幸か、本年度に文系向きの物理の講義を持つ事になった。ここで彼らにどれだけメッセージが伝えられるのかチャレンジしてみようと思う。

(H. H.)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

早川 尚男 (京大・人環)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 銑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

倭 剛久 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第74巻第2号 (平成12年5月号) 2000年5月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

早川 尚男 (京大・人環)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 銑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

倭 剛久 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第74巻第2号 (平成12年5月号) 2000年5月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先がかわる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 74-2 (5月号) 目 次

○表面拡散場中のステップの不安定化とパターン形成 —表面原子のドリフト流による不安定化の場合— …… 佐藤 正英……	93
○研究会報告 「モンテカルロ法の新展開」……………	113
○編集後記……………	199

物 性 研 究 74-2 (5月号) 目 次

○表面拡散場中のステップの不安定化とパターン形成 —表面原子のドリフト流による不安定化の場合— …… 佐藤 正英……	93
○研究会報告 「モンテカルロ法の新展開」……………	113
○編集後記……………	199